

# 北丹沢山岳写真展ご案内

主催：北丹沢山岳センター

撮影：白井源三

## 山城紹介

相模原市の奥庭である北丹沢山系（蛭ヶ岳・檜洞丸・大室山）は小田急線沿いの丹沢山系に比べて訪れる登山客が少なく、深山幽谷の雰囲気が漂う。山中にはブナをはじめ落葉広葉樹林に囲まれ四季の彩りに恵まれている。早春、萌黄色の芽吹きの木々に混じりマメ桜が可憐に咲き誇る。初夏には丹沢の名花・シロヤシオやトウゴクミツバツツジが稜線や山腹を彩り丹沢が登山者で一番の賑わう季節となる。表丹沢に比べ樹林の多い北丹沢山城は夏でも日陰の登山が出来て富士山や相模平野の夜景や星座鑑賞が待っている。秋のキャンパスにはブナやカエデが燃え、ツツジの葉の紅葉が一筆加わる。厳冬期、眠っていた静寂な山頂では枯れた樹林にたわわに着いた霧氷の華々が煌めく。1,000m台の低山ながら四季の移ろいを味わえる北丹沢へ訪れてみませんか。

また、麓の蛭ヶ岳登山口・青根にはいやしの湯が湧き、下山後ひと風呂浴びて帰りたい。大室山の登山口には神ノ川ヒュッテがありキャンプや四季それぞれの散策にも適している。

## 撮影者紹介

生まれは相模原市緑区橋本で現在は同区三ヶ木に在住。大学卒業後、新潟県立高校の教師として赴任。以後、神奈川県立三崎高校、上溝高校。相原高

校へ転任より故郷の山・丹沢山塊へ登るようになる。

パキスタン遠征、南米・アコンカグア、パタゴニアなど海外遠征のかたわら生れ故郷の丹沢山塊・特に北丹沢山城の撮影をライフワークとしている。

著書に分県登山ガイド「神奈川県の手」(山と溪谷社)、写真集「戸隠逍遥」、月刊誌「山と溪谷」に北丹沢や津久井の山々を紹介している。また、今春、北丹沢山岳センター制作の絵葉書セット「北丹沢 四季十二彩」の撮影を担当した。